

「私を拾ってくれた」ヘーベルハウス

「エンドユーザーの笑顔が見たい」



「最初のころは、中途入社
のひげ目から、とにかく数
字を残そうと緊張の毎日
でした。会社のブランドで
なく、自分の力を試したい
という気負いもあり、会社
のバッチも外して営業して
いました。営業成績は、自
分の実力と過信した時期
もありました」

「勘違いしていました。
どんなに事前に自分の名
前をアピールしても『ピ
ンポン』とチャイムを押
して、お客さまが発する
言葉は『お待ちしていま

「スムストック」大きな営業支援



田村氏が所属する東京は、城東を除く東京全域
第二営業所のテリトリーだ(城東と千葉、茨城は

さまでも離婚とか相続と
か話しづらい家庭の心情
を打ち明けてくださいま
す。涙ながらに話してく
ださるお客さまもいらっ
しゃいます。
僕を買ってくださいって
いるんじゃないんです
そして、初対面のお客

東京第一営業所が担当。
『スムストック』も大
きな支援材料ですね。こ
れまでフアジーだった中
古建物の価格をきちんと
評価しようと、2008
年7月にハウスメーカ
9社により優良ストック
住宅推進協議会「スムス
トック」が設立されまし
た。現在、10社が加盟をし

父は北海道の政治記者

田村氏は昭和42年、北
海道根室市で3人兄弟の
次男として生まれる。父
は某新聞社の政治記者
だった。



「父の仕事の関係で、根
室にいたのは2歳のとき
まで。その後、札幌、旭川
と転々とした。5
歳のとき東京に転勤しま
したので、北海道時代は
全然記憶にありません。
父のこと？ これまでど
んど誰にもしゃべった
ことがありません。何し
る朝刊の記事の締め切り
は夜中。家にいる姿は、ほ
とんど見ることがなかつ
たですね。仕事が休みの
日曜日の夕食と一緒に食
べるぐらいでした」

奥さんは小学校の同級生

小学校の時の同級生、学
4年のとき、私が調布
だった奥さんと結婚した
のは27歳のときだ。「5年
国立に住んでおり、近い
生るとき一緒にクラスで
のがきつかけでした」
「中学卒業後は接点
がなかったのですが、大
一緒に野球観戦したり

旭化成不動産に入社し、日、30歳の誕生日の2日
たのは平成9年10月2 前だった。

最初に配属されたのは
新宿の仲介営業部だ。



日本不動産野球連盟主宰
第三企画(株)代表取締役
久米 信廣

家庭という舞台を支える「住まい」

ある取引が原体験、RBA活動へ

親子の関係性、家族の在
り方の問題になっていきま
した。「21世紀母の会、父の
会」を結成し、子どもの勉
強と平行して活動しまし
た。家庭訪問もそのための
手段として活用しました。
私は、一方で、教育を生活
の糧とすべきではないと強

く考えていましたので、大
のことで。念願のマシシ
事が第三企画誕生の引き
金となったといます。また、
お喜びの「家族を見守り、
引渡しを終えた後のこと
的である「不動産業界の繁
栄と発展」もの体験から
生まれできたのです。

ていた関係上のお手伝い
をするにしました。神
奈川方面に二つの営業所
を開設しましたが、今も忘
れられないのが、当時の営
業活動において起ったマ
シシンの瑕疵事件でした。
4人家族の方にさる中
した時、自分は何をしなけ
ればいけないのか、それまで
もやもやしていたものが明
確になりました。この出来

私が目指している「平和
「幸せ」とは「子ども達が
笑顔で暮らせる世の中」で
す。舞台は、家庭であり、学
校であり、会社がある社会
です。そしてその舞台を支
えているものが「住まい」で
あり「家族」なのです。何事
もそうですが、脚本がドラ
マを形作るように、住まい
が家庭を形作るのです。
子ども達が笑顔で暮らせ
る住まいのために、業界の
皆さんが社会生活を支える
不動産業を営むのだとい
う共通の意識をもつて、
そしてその意識を横系にし
て連携していくことが必要
だと感じたからです。日本
不動産野球連盟が求めている
ものがここにあります。

「父の仕事の関係で、根
室にいたのは2歳のとき
まで。その後、札幌、旭川
と転々とした。5
歳のとき東京に転勤しま
したので、北海道時代は
全然記憶にありません。
父のこと？ これまでど
んど誰にもしゃべった
ことがありません。何し
る朝刊の記事の締め切り
は夜中。家にいる姿は、ほ
とんど見ることがなかつ
たですね。仕事が休みの
日曜日の夕食と一緒に食
べるぐらいでした」

「逆を除幕式のセレモ
ニーなどは、1日拘束さ
れて30000円から
40000円。とにかくお
金がなくって、バイトに
行く交通費がなくて柴又
の帝釈天に行くのに金町
から歩いたこともありま
す。父が大変だった？ そ
うでしょうね。3人とも
大学に通っているときに
ありましたから」



えきでんコラム

6

— 家族・住まい・街 —

第22回RBA野球大会 日曜ブロック決勝戦

東京ドーム	試合開始 15:00	◇観衆 500人
清水建設	0000020	2
東電不動産	030101X	5

小野監督を胴上げする東電不動産サイン

清水建設	打点	安打
⑦ 茂野	3	210
⑥ 田金	3	200
② 小寺	3	311
① 野村	3	300
⑧ 野村	2	200
⑤ 野村	1	100
③ 本間	3	300
③ 本間	1	100
打3 吉田	2	200
⑨ 石坂	2	200
④ 橋口	1	000
打 山中	1	100
4 佐藤	0	000

振球機	
7 30	25 22 2 1

東電	席打安点
⑤ 森 正	4 4 1 1
⑥ 古 内	4 4 0 0
⑨ 五月女	3 2 1 0
⑧ 田 中	3 1 0 0
① 清 水	3 3 1 0
④ 篠 宮	3 2 0 0
DH 伊 原	2 1 0 0
打 金 子	1 1 0 0
② 飯 塚	3 2 1 2
③ 幾 田	3 2 1 1
振球機	
1 7 0	29 22 5 4

投手	回	安打	振球	責
小寺	4	21	53	
石坂	2	30	21	

清水建設	7 2 7 3 0
3 塁打	金子 2 塁打
飯塚	

清水建設 連覇ならず 小寺投手が不調

飯塚が決勝打 清水は完投



東電不動産 小野監督

東電不動産が初優勝



清水建設サインと関係者



清水建設の応援団



東電不動産の応援団

東電不動産が大会参加4年目で初優勝—第22回RBA野球大会日曜ブロックの優勝戦、清水建設—東電不動産が11月6日、東京ドームで行われ東電不が5—2で清水を下し初優勝の栄冠に輝いた。昨年、サドンデスで敗れた借りを返した。飯塚が決勝の2点打を放ち、清水投手が7回を2失点(自責ゼロ)完投。清水建設はエース小寺が本来の出来ではなく、打線も散発2安打に抑えられ2連覇を逸した。

幾田もしぶとく右翼前に運び飯塚が生還、3点を先取した。4回にも敵失で1点を追加。2点差に追い上げられた6回にも1番森正が適時打を放ち突き放した。エース清水は、味方の失策で2失点したが、7回を被安打2、7奪三振の好投。



先制の2点2塁打を放った東電不動産・飯塚選手

清水は完敗。6回3番金子の3塁打と敵失で2点を返したが、それまでほとんどチャンスらしいチャンスを作れなかった。

○篠宮 昨年は真つ暗な

た。残塁はゼロだった。納会だった。こんなにうエース小寺も本来の出来れいいことはない

○小野監督 ドーム出場2回目、いつものうちの野球ができた。下位打線がよく打ったし、清水もよく投げてくれた

○飯塚 初回に盗塁を阻み、あれで乗れた。(決勝打は)狙いを外したがよく飛んでくれた

○北條 3年間ヒットがなかった。今季、4年目で初めてヒットを打てたのが嬉しい

●山寺監督 今日

●金子 悔しい

●小寺



東電不動産・清水投手



清水建設・小寺投手

明暗分けた2回の攻防 東電不は粘りと積極策

ネット裏

勝利の明暗を分けたのは2回の攻防だった。初回は清水は先頭の茂野が初球を死球で出塁したが、盗塁失敗。結局三者凡退に倒れた。東電不もその裏、簡単に3者凡退に倒れた。

2回、清水の先頭の4番小寺は初球を簡単に打って3塁ゴロ。続く野村は3球三振。6番野村も2球ファウルしたが結局三振。初回は3者に対して12球投げた清水はこの回9球でしのいだ。

その裏、東電不は4番の田中が粘り四球で出塁して得点に繋がった。決勝打を放った飯塚は、打席で余裕が感じられた。読

みは外したようだが、ためらいなく振り切ったのが決勝打となった。試合後、飯塚は「あの初回の盗塁はセーフだと思ったが、アウトになって乗れたと語った。清水投手も「あの盗塁阻止も大きかったが、2回に3点も取ってくれて楽しかったと語った。

敗れた清水の前監督、松平氏は「野球は怖い。あれで流れが向こうに行った。うちは気迫でも負けていたかも」と語った。

「異業種セミナー」に180人

「イチローの心技体に学ぼう」[※]イチローの恋人、奥村幸治氏が講演



挨拶する春原氏



平元専務



講演会場(渋谷スクエアA)

奥村幸治(おくむらこうじ)氏プロフィール

イチロー選手が210安打を達成したときに、イチローの専属打撃投手を務めていたことから「イチローの恋人」としてマスコミに紹介され、それ以来、コメントを依頼されてのTV出演多数。中学硬式野球チーム(宝塚ボーイズ)を結成し、監督を務める。一方、講師として各地方で講演活動をする。宝塚ボーイズの教え子に楽天イーグルス田中将大投手がいる。2008年NPO法人ベースボールスピリッツを設立。野球を通じて子ども達の健全な心身の成長を図るとともに幅広い世代交流、地域交流に努める。

「不動産コンシェルジュ」活動の一環

東急リバブルは2007年、社団法人日本能率協会が主催する「2007年度(第20回)能力開発優秀企業賞」を受賞している。能力開発優秀企業賞とは、優れた能力開発活動を行っている企業を表彰する制度で、同社の「不動産コンシェルジュ」を

目指す人材育成システムと成果が評価された。「不動産コンシェルジュ」とは、単なる不動産のプロとしての知識や技術の取得にとどまらず高い人間性を磨くという全社的な取り組みだ。今回の「異業種交流セミナー」も、同社が日ごろお世話になっている人への感謝の気持ちを込めて行ったものだ。

主催した同社第一統括部第四部長・春原昌明氏は「能力開発優秀企業賞」を受賞した当時、同社経営

営管理本部人材開発部長 学ぶことが多いとして実を務めており、不動産コンシェルジュの育成に当っていた。自らも高校球児として、また、同社に入社してからも野球部の選手として活躍していた。RBA野球大会で総合優勝した平成5年、同7年当時の主力選手だった。



奥村幸治氏

「心技体」のバランスが抜群メンタル・トレも徹底してやる

「イチローが活躍できるのもいるかもしれないが、いのは心技体のバランスがいつもプラス志向を持ち続実によく取れていることでけられる精神力はだれもす。技術だけならイチローかなわなない」「イチローはローより優れている選手ルーチン、いわゆるメンタル・トレも徹底してやっています。毎朝、カレーライスを食べるのはよく知られているが、攻守交替のとき全力で走ることや、階段を右足から上るのか左足から上るのかも決めているのは理由のあること」

365日3年間続けた10分間の素振り

「奥村さん、僕ね、高校やった」「高校のとき勝てるとき寮生活して毎日バ甲子園の試合で、僕が365日3年間やり続投げて負けていたのに雨けたのが10分間の素振りで再試合になった。再試合したかもしれない」

夜中の1時から朝方までバッティング練習

「僕は寮でイチローの隣ろ、コンコンと壁を叩いてもだっただんです。夜の10時ごろ反応なし。寝ているんで

春原氏は、今回の講演す。イチローは3時間でも4時間でも集中することができるようなんです。『奥村さんは素晴らしい人。皆さんに真剣に聞いていた。僕が練習。目標は手に届くところ』に設定して、クリアできた。また次の目標を設定せなアカン。目標が高すぎるとあきらめにつながる。目標が達成されるとプラス思考にながる。僕はイチローが20歳のときにこんな話を聞いた」

「お前、生意気や。2軍へ行け」泣き崩れたイチロー

「イチロー選手は19歳のとき、1軍に上がるチャンスがあった。ところが、グリップエンドに小指をかける握り方をコーチから改めるよう指摘された。デッドボールで

合で僕がホームランを放つたのをオリックスのスカウトの人が見て、誘ってくれた。僕にとつての最高の運やね。再試合にならなければプロに行けなかったかもしれない」

す。ところが1時ごろに打撃練習の音がするんです。イチローが一人練習しているんです。練習は明け方まで続いたことがありま

記者の目

夢の実現へ 頑張れ奥村さん

奥村氏は講演の冒頭、「話は1時間半。皆さんは途中で眠くなるでしょうから、眠くなりそうときイチローの話をします」と笑わせたが、眠くなるどころか、180人余も集まった会場は水を打ったように静まり返り、真剣にメモを取る人がたくさんいた。

記者は30年間の記者生活で、数え切れないほどの退屈でつまらない講演会につき合わされてきた。もちろん野球は好きだが、仕事に役立つ情報など得られないだろうと高をくくっていた。

ところが、奥村氏が「バッティングピッチャーとしてオリックス球団に入団した」と語りだしたとたん、「この人は面白い。何かある」に変わった。奥村氏

の話を細大漏らさず聞き入り、夢中でメモも取った。取材記者ではなく一人の聴衆となった。

奥村氏は、メジャーリーガーになるには「体と運」が必要なことを教わったという。奥村氏の身長は168センチ。かつて阪神タイガースには牛若丸の異名をとった身長165センチの吉田義男選手(後に監督)が活躍したが、170センチ以下の選手が1軍で活躍するのはまれだ。現在も170センチ以下の選手は12球団の中で数人しか現役登録されていない。

奥村氏は、その意味で大きなハンディを負っていた。「バッティングピッチャーの粹なら空いている」とオリックスに入団したが、ついに1軍のマウンド

に立つことはできなかった。しかし、イチロー選手と同様「普通のことを普通にやってきた」からこそ「運」をつかみ、100人近くも擁する少年野球の監督として、また野球を通じて人としての生き方を語る評論活動をできるようになったのだろう。そもそも寮生活でイチローと隣りの部屋に入室できたのも大きな「運」だろう。

奥村氏が「生きているうちに実現したかった」自前のグラウンドも近く完成するという。

◇ ◆ ◇

このような講演会を開催した東急リバブルにもエールを送りたい。高いレベルの「不動産コンシェルジュ」を目指して欲しい。